

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 「柗津東町歌舞伎のあゆみ」の発刊・活用事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 東町歌舞伎保存会 会長 金井 勝 〒389-0506 東御市柗津1822番地 |
| 事業区分 | (3) 教育、文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 2,286,576円 (うち支援金: 1,707,000円) |

事業内容

- 「柗津東町歌舞伎のあゆみ」の編纂、発刊
冊子編纂のため、特別に編纂委員会を組織した。
冊子は写真を多く活用しP80で1000冊の印刷した
- 文化財ガイドの育成
地区内には、歴史・文化に精通する人材は少ない。
そこで、地区内に在住の【東信史学会会員】に講師をお願いし、秋から冬にかけ6回の勉強会を実施した。
- シンポジウムの開催
「柗津東町歌舞伎のあゆみ」の発刊を機に、日頃歌舞伎の振付指導をされている方を講師にシンポジウムを実施した



【講演会参加者】

地区内外から歌舞伎に関心ある多くの皆様が参加された。

【目標・ねらい】

- ① 歌舞伎に対する意識の変化
- ② 伝統芸能と文化の担い手の育成
- ③ ボランティアガイドの育成
- ④ 協働への意欲と人の繋がり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 編纂を機に歌舞伎に対する関心がさらに高まった。
編纂にあたり広く区民に聞き取りをはじめ、収集活動等で協働への意欲の高まりが見られた。
- 文化財ガイドの育成では、広く募集し地区内で6回の勉強会を開催したことにより、文化財等に対する意識が高まった。
- シンポジウムを市の中心にある公民館で開催したことにより、地区外からの参加者も多く、歌舞伎への関心と文化財保護の高揚にも繋がり、柗津東町歌舞伎に対する見方や考え方が新たなものとなった。

※自己評価【B】

【理由】

冊子編纂に追われ日々が容赦なく過ぎてしまった。冊子内容は遜色のないものになったが、これを機会にさらに地域の活性化を図っていく必要がある

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

冊子の内容は、単なる本ではなく歴史文化を知る上での文献としても遜色がないと確信をしている。これは地区内だけにとどめず、広く周知しながら様々な利用方法を模索していくこととしたい。特に公共機関、施設等へ多数配布をさせて頂いたので、小中学校をはじめ広く多くの人が冊子を活用し、伝統文化の継承や市内の数多い文化財の保護保全の活用に関がれば幸いである。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

「柵津東町歌舞伎のあゆみ」の発刊・活用事業風景写真

1. 「柵津東町歌舞伎のあゆみ」の編纂、発刊



2. 文化財ガイドの育成



3. シンポジウムの開催

